

# 進路情報提供

## 考查の重要性

長崎県立奈留高等学校

進路便り 第37号

Road to the future

平成24年4月18日

まず、始めに下記の感想文を読んでください。

評定がいかに重要か、1年生の時にはあまり意識していませんでしたが、自分の進路について考えていくにつれ、評定はとても大切なものだと気づきました。進学・就職で利用される評定平均値とは、1～3年生までの評定の平均なので、定期考查の結果が悪いときがあれば評定は大きく下がってしまいます。評定平均値が低ければ希望する学校や就職先を受験できなくなることもあるので、定期考查にまじめに取り組むことはとても大切です。



これは、今年の3月に卒業した先輩の合格体験記の抜粋です。3年生にとっては、就職試験や入学試験が迫っているので意識しやすいと思いますが、1・2年生は、まだまだ先のことと考えがちです。しかし、試験を受けるときに、3年間の通知表である評定平均値が低ければ、希望する学校を受験できないケースもあります。試験を先のことと考えずに、将来の自分をイメージしながら、考查の勉強にも励みましょう。1学期の中間考查は、5月9日（1年生は10日）から始まります。

<考查に臨むときのポイント>

- 今回の定期試験の目標を決めよう。
- 各科目のやるべきことを洗い出そう。
- 調整日、予備時間を取っておき、無理のないスケジュールを立てよう。
- 苦手な科目にはできるだけ早めに取りかかり、時間をかけて取り組もう。
- 試験前の授業の予習・復習・宿題は、学校から帰ったらすぐに取りかかり、短時間で済ませるようにしよう。
- 毎日、計画を実行できたかどうか確認していこう。

## みんなの健闘を期待します！！

## 進路のしおり、読んでいますか？

4月初旬、平成24年度版「進路のしおり」を配りました。そこから抜粋して、情報を提供します。自分で積極的に情報収集し、進路実現に繋げましょう。

大学の入試制度（進路のしおり 6ページ～）

(1) 大学入試の種類

① 学力試験中心の**一般入試制度**

一般入試は学力試験によって合否を判定する。国公立大学の場合は、\*センター試験という全国共通の試験と、各大学が行う個別試験の両方で合否が判定される。私立大学では、センター試験は一般入試の一方式と位置付けられる。

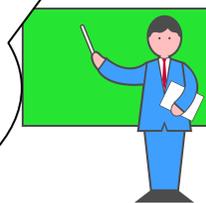
② 書類審査、小論文と面接で決まる**推薦入試制度**

校長先生の推薦を受けて、主に書類審査や小論文・面接で合否を判定するのが推薦入試。出願には評定平均値が4.3以上などの諸条件があり、それを満たしていないと受験することができない。

③ 人物を総合的に審査する**AO入試制度（自己推薦入試制度）**

学力だけでなく、特技や学習意欲などを総合的に評価して合否を判定する入試がある。この数年、このAO入試を取り入れている大学がほとんどである。代表的な選抜方法として、書類・論文を重視するタイプと、面接を重視するタイプがある。

センター試験とは、大学を受験する人が、原則として、受けなければならない全国共通の試験。受験校が指定する科目を受ける。解答方法はマークシート方式で選択肢の中から正しい解答を選ぶ形式。「国語」「英語」「数学」は200点、「地歴公民」「理科」は各科目100点。



## 進路の質問にお答えします！

進路に関する質問があれば、下の用紙に記入し、切り取って進路指導部、または担任まで提出してください。みなさんからの質問、待っています。

.....切り取り線.....

<質問事項>

( )年( )組( )番 生徒氏名( )